

学級活動指導案

平成27年10月15日（木曜日）第5校時4年

1 議題 「4の1いいところ発表会をしよう」

2 考察

(1) 題材観

① 内容：学習指導要領上の位置付け

- ・(1)学級や学校の生活づくり ウ「学校における多様な集団の生活の向上」

② 主な伸ばしたい資質・能力

- ・学級生活をより良く楽しくするための活動について関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に学級生活に取り組もうとする態度。
- ・集団としてのより良い方法について考え、判断し、まとめようとする力。
- ・自分だけではなく、みんなが良いと思う意見にまとめることや、そのまとめ方についての理解。

③ そのために必要な指導・活動

- ・定期的な議題の募集。
- ・議題について、事前に考え、自分や班の考えをまとめる活動。
- ・互いの意見を可視化できる「話し合いボード」を使って話し合う活動。
- ・意見が途中で変わっても良いことを伝え、最初の考えやペアや班で話し合った結果にとらわれず、自分の意見を持てるよう指導する。
- ・折り合いをつけるための方法（たし算作戦）を例示し、相互の意見を生かしてより良い考えにする意識を持てるように指導する。
- ・話型を使って相手の意見に対して自分の考えを述べられるよう指導する。
- ・他教科においても小集団での話し合いを取り入れる。
- ・計画委員の事前打ち合わせ、具体的な役割分担の確認、リハーサルを十分に行う。

④ 今後の活動予定

- ・運営するための役割（係）分担の決定と計画、事前準備。
- ・なかよし発表会の実施。
- ・実行後の振り返りと活動の様子への掲示。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子16名 女子12名 計28名）

① これまでの話し合い活動の議題例

- ・「休み時間にみんなで遊ぶ内容を決めよう」
- ・「学級会で話し合う内容を考えよう」
- ・「4の1がべんりで楽しくなる係を考えよう」
- ・「お楽しみ会を計画しよう」
- ・「運動会を成功させよう」

② 話し合い活動における児童の実態

- ・児童は計画委員を中心に自分たちで話し合いを進め、実行していくことについて、そのよさや必要性を感じ始めている。しかし、意見を持ち、述べることやまとめていくことに難しさを感じている児童もいる。
- ・友達の発言にうなずいたり、「なるほど」「あー」と同意したり考え直したりする児童が見られるようになってきた。
- ・「自分もみんなも良い」考えを持つことに対して意識が向くようになったが、そのためにはどのように話し合えばよいかということを理解している児童は少ない。その中で「○○さんの意見を聞いてその方が良いと思いました。」と意見を修正する発言も出てきた。また、複数の意見のよさや共通部分を見つけて合案を作ろうとする姿も見られるようになってきた。

③ 話し合い活動における指導方針

- ・話し合いの流れや相手の意見を可視化できるよう、話し合いボードを使って話し合う。

- ・主体的に話し合いに参加するために、必ず全員が発言すること、意見に理由をつけて述べることを指導する。
- ・相手の意見を受けて自分の意見を考えるために、相手の意見をしっかりと聞くことを指導する。
- ・相手の意見を受けて話し合っていくために、話型を示し、相手の意見に対して自分の意見を述べるように指導する。
- ・「自分もみんなも良い」考えや結論となるために、友達の見解のよさを見つけるように指導する。
- ・「自分もみんなも良い」結論を導くために、折り合いをつけるための方法（たし算作戦）を例示し、相互の意見を生かしてより良い考えにする意識を持てるように指導する。
- ・議題の提案時に示す決定事項が内容を考える条件（話し合う視点）にもなるので、計画委員と事前しっかりと打ち合わせておく。
- ・年度当初から帰りの会で生活班ごとに1日の頑張りを伝え合う「なかよし会議」を実施し、全員が発言し意見をまとめることに取り組んできた。多様な意見を聞き合い、折り合いをつけられるようになるために、話し合う規模を班から列に拡大し、人数を増やしたり話し合う内容を変えたりする。

3 研究との関わり

小学校3・4年生では、学習指導要領において「協力し合って楽しい学級生活をつくる」ことに特別活動の重点が置かれている。そのために異なる考えなどについてもしっかりと聞いたり、理由を明確にして意見を言えるようにしたりして、折り合いをつけて集団決定ができるようにすることを指導のめやすとしている。また、「はばたく群馬の指導プラン」では三つの豊かな心を示し、そのうちの「大切にすること」では「学級の生活をよりよくするために、友達と協力し合うことができる」ことを求めている。

本学級の児童は、自分のことや自分と親しい友達以外への関心がまだ薄い傾向が見られる。これらは、話し合いや協同的な活動等を通じて友達のよさや協力するよさを実感する経験が少なかったためと考えた。こうした児童を、互いのよさを感じ、協力できる方向へと転換させていくことが大切であると考えた。

そこで、互いの考えを意識する話し合い活動を設定する。友達の考えを意識して聞き、話し合いを進めていくことで、自己中心的な態度から、「自分もみんなも良い」という視点をもつことができ、集団としてよりよく楽しく生活を送ろうとする意識を持てるようになる。また、友達の考えのよさや自分の意見が受け入れられることによって得られる有用感を感じることで、一人一人の持つよさに気付くことができると考える。更に、集団決定したことを実行することで、共通の目的に向かって皆で取り組むよさを感じ、より良い仲間づくりをする意欲が持てるようになる。そのための方法の一つとして「話し合いボード」を互いの考えを比較したり、取り入れたり、見直したり、まとめたりする場に活用する。また、小集団で話し合う場を計画的に取り入れることによって、友達の意見に耳を傾ける態度やより良い学級づくりのために皆で考えていこうという態度、話し合いの仕方の理解につなげていく。

「話し合いボード」は、話し合うための視点を示し、主に小集団での話し合いの場で活用する。本題材における事前の活動では、個々の意見を小集団でまとめていく場面で使用し、なかよし発表会の「時間」や「場所」の設定を視点として示し、その条件に合う意見をまとめさせたい。本時では活動内容の質的な部分に目を向けた視点を示し、この発表会の内容としてどの活動が良いかを小集団で検討する。ボードに示す視点は、このクラスの良さとしてアピールできる「元気のよさ」や「仲のよさ」等とし、話し合いのめあてを意識したものとしたい。話し合いボードを使うことで、意見の流れを捉え、自分とは違った意見も受け止め、自分の意見を見直しなが、互いの意見のよさを生かしてより良いものがないかを考え、意見をまとめていくことに役立てたい。

4 指導計画（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	○学級生活をより良く楽しくするための活動について関心を持ち、他の児童と協力して意欲的に取り組もうとしている。
---	-----------------------	--

価値基準	集団の一員としての思考・判断・実践	○学級生活をより良く楽しくするために話し合い、その方法や内容などについて考え、判断し、協力し合って実践している。
	集団活動や生活についての知識・理解	○より良く楽しい学級生活をつくることの大切さやそのために自分たちで考え実行するよさについて理解している。 ○話し合いは、自分だけではなくみんなが良いと思う意見にまとめることや、その進め方について理解している。

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		知識・理解	思考・判断・実践	
事前の活動	話し合いの準備	<ul style="list-style-type: none"> 学級集団としての意見をまとめる話し合いの進め方などについての理解。 【全員】 本時の議題を選定し、計画的に話し合いを進めることについての理解。 【計画委員】 より良く楽しい学級生活をつくることの大切さやそのために自分たちで考え実行するよさについての理解。 【全員】 	<ul style="list-style-type: none"> 議題に沿って話し合いを進めるために話し合いを計画する力。 【計画委員】 いいところ発表会について、自分なりのアイデアをまとめる力。 【全員】 出された意見のよさを生かしてまとめる力。 【全員】 	<ul style="list-style-type: none"> 議題を選定する。 【計画委員】 話し合いを計画し学級会ノートを作成する。 【計画委員】 議題や決定事項を全体に発表する。 【計画委員】 やりたい内容を考え、学級会ノートに意見を書く。 【全員】 発表会を行う上での条件(時間設定や場所、練習期間等)を書いた話し合いボードを作成する。 【計画委員】 話し合いボードを使って、班で話し合い、意見をまとめる。 【全員】 出された意見を整理、把握し、意見を掲示する。 発表内容をよりめあてに沿ったものに近づけるような視点(条件)を考え、話し合いボードを作成する。 【計画委員】
本時の活動	出し合う 比べ合う	<ul style="list-style-type: none"> 議題やめあてに沿って話し合うことについての理解。 自分と友達の意見を比べ、より良い考えに絞っていくことへの理解。 内容を決定していくための視点についての理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題に対して、理由をつけて考え、伝える力。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題や話し合いのめあてを確認する。 出された意見を確認する。 提案理由とめあてを再度確認し、それらに沿った視点(条件)を計画委員が示す。 班ごとに話し合いボードを使って、出された意見について検討し、よりふさわしい内容を選んだり、新しい案を考えたりする。 班ごとにまとめた意見を発表し、黒板に掲示する。 各班から出された意見をも

	決める	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ意見のよさを生かしてまとめることの理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団としてのより良い考えになるよう、判断し、まとめる力。 	<ul style="list-style-type: none"> とに、全体で話し合う。 話合いの終了とまとめ。 振り返り。 今後の活動について知る。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 発表会を実施するまでの見通しについての理解。 運営についての理解。 それぞれの役割で発表会を成功させるために工夫し、活動することの理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施に向けて必要なことを考え、準備する力。 運営の工夫を考える力。 友達と協力して、自分の役割に責任を持って活動する力。 協力やお願いなど、必要なことを全体に伝えたり提案したりする力。 	<ul style="list-style-type: none"> いいところ発表会を運営するための役割分担を考え、決める。 役割ごとに打ち合わせを行い、具体的な工夫について考え、計画立てて準備を行う。 発表に向けての練習計画を立て、実行する。 必要なことがあれば朝の会や帰りの会に連絡をする。
	振り返り見直し	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体で話し合い、計画し、実施することのよさの理解。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合いから実施までの活動を振り返り、よさや反省点を考え、次の活動に生かそうとする力。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿っていいところ発表会を実施する。 学級会ノートを使って振り返りを行う。 いいところ発表会の様子についてまとめ、掲示する。

5 本時の展開

(1) **ねらい** 「4の1いいところ発表会」の内容について考え、折り合いをつけながら話し合っ
て決めることができる。

(2) **準備** 学級会ノート、たし算作戦、話型カード、短冊、ミニ短冊、話合いボード、ホワイト
ボードペン、掲示物

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価)
1 議題、提案理由、めあての確認を する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">4の1いいところ発表会をしよう。</div>	5分	◎話合いが議題やめあてに沿って、時間内に進むよ う、計画委員と事前によく準備をする。 ◎相手の意見をよく聞くこと、自分たちが思う学級 のよさが表れるような発表内容を考えていくこと を確認する。
2 話合い <出し合う> ◎意見の出し合い。 ・なるほど ・同じだ ・それもいい <比べ合う(聞きあう、わかり合う)> ◎班ごとに話合いボードを使って出た 意見を再検討する。	5分 10分	◎事前に出された意見とその理由が書かれた短冊を 掲示しておき、比べ合う場面に時間を多く割く工 夫をする。 ◎めあてに沿った話合いの視点(条件)を書き入れ た話合いボードを作成しておき、話合いの視点を

- ・工夫できないか。
- ・これとこれは似ているから一つにして意見を言ってみよう。

- 班ごとに一つずつ意見を発表し、黒板に貼っていく。
- 各班から出された意見について、全体で話し合う。

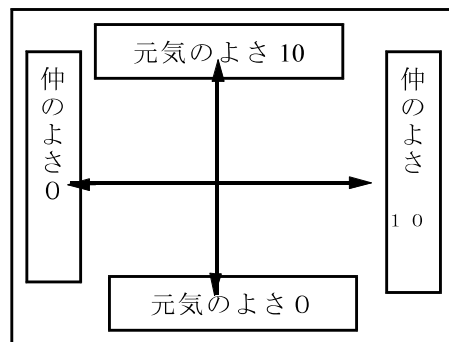
〈決める〉

- 決定の方法を確認し、内容を決定する。
- ・楽しみだな。
- ・練習を早くしたい。
- ・いいものにしたい。
- 次時や今後の活動について知る。

3 振り返り

- ・友達の意見が聞けた。
- ・合体して新しい意見を考えられた。
- ・〇〇くんの意見がいいと思った。

明確にする。



- ◎班別の話合いで、必ず自分の意見が言えるよう、全員が発言する約束を確認する。
- 班ごとの話合いの中で、折衷案や合体案が出されれば、新たな案として提案してよいことを確認する。
- 理由を比べ話し合えるように、短冊には意見とともに理由を簡単に書くようにする。
- 同じ意見の場合はその場で「同じです」ということとし、理由や内容の付け足しを行う。
- 意見をうまくまとめられないことも予想されるため、司会グループにヒントカードを用意し、話合いが円滑に進むようにする。場合によっては教師が司会グループに助言する。
- 意見が分かれて折り合いが付かない場合、「たし算作戦」を参考にして互いのよさを生かした意見がないかをよびかけるよう計画委員に助言する。
- 学級全体の意見がどのように流れているかが分かるように、賛成意見にマグネットを貼っていく。
- ◎発言が苦手な児童も参加できるよう、「〇〇という意見について賛成（反対）ですか」等簡単な言葉も用意し、計画委員に投げかけるよう事前に指導しておく。
- 強引に意見をまとめないよう、少数意見についても意見を聞くなど、全員に確認を取りながらまとめていくよう計画委員に助言する。
- 決定したことに★印をつける。
- 全班が同じ意見になった場合は決定し、他の内容（運営に必要な係など）について意見を投げかける。
- ◇友達の考えを大事にしなが、自分だけではなくみんなが良いと思う意見を発表している。

5分

5分

・班での話し合いでは意見が言えたから、全体でも言えるようにしたい。

るよう助言する。
○話し合いに対する取組について認め、意見が採用されなくても、「みんなが良い」と思えるものを考えたことを称賛し、発表会への意欲や役割分担等次回以降の活動への意欲をつなげる。

(4) 板書計画

決める	比べ合う (聞きあう わかり合う)		出し合う	
5分		25分		5分
★ ソーラン上げき	決まったことの確認	三十人コラボとび 理由 ●	げき	ソーラン 三十人長なわ
	組み立て+おどり 理由 ●	考える視点	組み立てとおどり	ソーラン 三十人コラボとび
		元気のよさ		
		げき		
		理由 ●		
		仲のよさ ●		

めあて
みんなのことを考える。
自分の意見ばかりを通そうとしない。

提案理由
四の一のいいところをいろいろな人に知ってもらいたいから。
四の一を卒業しても思い出に残るクラスにしたいから。

十月十五日(木)
第〇回 なかよし学級会議
議題 四のいいところ発表会をしよう